

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:H30年 12月 21日

事業所名: 放課後等デイサービスフェローKIDS

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			車椅子を利用する児童や利用人数が多い場合は、それに応じてレイアウト、席順を移動しやすいよう考慮している。	26	7	1	5	狭い事業所もあるなか十分(はい)もう少し広い方がいい(どちらともいえない)	引き続きレイアウト、席順を考慮していく。
	2 職員の適切な配置	○			スタッフだけでなく、アルバイトも受け入れ手厚い支援を目指している。	28	0	1	10	信頼しています(はい)スタッフの人数、職種(ライセンスなど)も分からない写真入りの紹介が欲しい(わからない)	HPやSNSを活用したスタッフの紹介を検討する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			段差がある所に簡易スロープを設けたり、事業所内にはエレベータも整備されている。	29	5	0	5	環境はいいと思います(はい)	要望が出た際は、随時対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎日、事業所内の清掃をしている。	31	3	0	5	環境はいいと思います(はい)	今後も、清潔感を保っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			経営方針で一年間の事業所の目標をスタッフ全員で決め、申し送りで行っている。	/	/	/	/	/	今後も、申し送りでの情報共有を図り、業務改善に取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		不定期で社内アンケートの実施を行っている。	/	/	/	/	/	必要に応じて、外部評価を取り入れ活用していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			内部勉強会は月2回、必要に応じて外部勉強会の案内をかけ、参加しており、年1回社内合宿も取り行っている。	/	/	/	/	/	今後も積極的に勉強会に参加し、職員の資質向上を図る。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			日々の活動に関して保護者と連絡帳でやり取りを行い、計画作成時には本人とアセスメントを行い作成し、保護者の確認を取っている。	36	1	1	1	考えてくれていると思います(はい)車椅子の子供は服を脱ぎにくいので、あらかじめ周りとの服の違い、暑すぎる時に脱ぐ手伝いをしてほしいです(特に遠慮する子供に対して)(はい)	引き続き、子どもに沿った計画作成を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			本人の成長に合わせて課題内容に変化を持たせている。	37	1	1	0	考えてくれていると思います(はい)	引き続き、子どもに沿った計画作成を心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			本人のニーズと将来、保護者の意見を合わせて支援計画を作成している。	/	/	/	/	/	引き続き、子どもに沿った計画作成を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			計画に合わせた支援内容の変更や実施をしている。	34	1	0	4	行われています（はい）	引き続き、子どもに沿った計画作成を心掛ける。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			申し送りや部署会議の際に情報共有して、改善点などは全員で意見出しを行っている。						引き続き、全員で意見出しを行い、改善に努める。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		○		プログラム内容はある程度スケジュールに沿った支援となる。見通しを立てる事で安心して次の活動に移れるようにしている。	29	3	0	7	工夫されていると思います（はい） 子供が同じことをしてしまいがちなので興味など広がる とよいと思う。（どちらともいえない） 他の事業所のような計画がないため、いつも同じことを するように思います（わからない）	プログラム内容も、成長に合わせて変化できるよう検討していく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			平日は各々のIT学習が充実するよう、休日は集団学習の時間を取り入れ、長期は普段行わない集団学習にも挑戦している。						引き続き、臨機応変に学習内容の精査を行っていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			申し送りにて支援内容、担当の割り振り、共有事項の情報交換を行っている。						引き続き、申し送りにて情報交換を行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			日報にて活動内容の報告、共有を行っている。翌日気になる点は申し送りにて再度共有。						引き続き、日報、申し送りにて情報交換を行っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			利用時には支援内容を専用の用紙に記入している。 また特記事項、改善事項は日報、申し送りにて共有している。						引き続き、日報、申し送りにて情報交換を行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			支援計画は半年に一回見直しを行い、本人へのアセスメント、保護者への確認を行っている。						引き続き、子どもに沿った計画作成を心掛ける。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			適時状況や内容に合わせて、担当者会議への参加者を決めている。						引き続き、状況や内容に合わせて、参加者を決めていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2		○		該当者なし。						該当者なし。
関係機関との連携（続き）	3		○		該当者なし。						該当者なし。
	4		○		送迎時に学校の先生から近況連絡があったり、必要に応じて担当者会議が一部の児童では行われている。						必要に応じて随時行っていく。
	5	○			相談員さんから電話やメール、来所での聞き取りがあった場合、適時対応している。						必要に応じて随時行っていく。
	6		○		必要に応じて、不定期で参加者を募り、研修へ参加している。						必要に応じて随時行っていく。
	7		○		社内イベントの内容によっては、利用児童の兄弟が参加してくれる場合や外部イベントには一般の方も参加している事もある。	11	8	3	16	地域の人との交流の機会を持つイベントをよくしてもらっているのがありがたいです(はい) 様々な障がいの生徒と活動できてる、障がいのない子供との活動は特に必要を感じないがイベントの時などに兄弟との交流はあってもよいと思う(どちらともいえない)	必要に応じて、本人・保護者の要望を伺い検討していく。
	8	○			月1回行われる社内イベントの内容によっては、地域の方に積極的に案内をかけたたり、近隣住民への声掛けも事前に行っている。						引き続き、地域に根差した支援を行っていく。
保護者への説明責任	1	○			契約時に契約書を見せながら実施。保護者の不明点は後日も対応。	36	2	0	1	説明を受けました(はい)	引き続き、適切な説明、対応を行っていく。
	2	○			作成した支援計画を見せ、連絡帳や送迎時に説明を行い、保護者の確認を取っている。	33	4	0	2	説明を受けました(はい)	説明不十分にならないようメールや電話、連絡帳にて補足も行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			1年間に2回保護者向け勉強会の実施を行っている。	17	9	5	8	勉強会の内容を今後も広げてほしい(はい) 企画して頂いている勉強会等に参加できず、すみません(どちらともいえない)	今後も継続して勉強会を周知、実施を行い、内容はニーズに合わせて検討していく。
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			利用時の連絡帳のやり取り、送迎時に聞き取りを行っている。	30	8	0	1	連絡ノートでその日の様子を書いて頂いているのでよくわかります(はい) 利用日の活動内容連絡等で、理解しています(はい)	引き続き、連絡帳や送迎時に聞き取り、情報共有を行っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			メール、電話、連絡帳、来所にて受けた質問は適時対応している。年に1度懇談の機会を設けている。	30	6	1	2	家庭訪問等、ゆっくり相談ができてうれしかったです。(はい) 年1回の懇談会ではゆっくりお話しできました。(はい) 家族参加のイベントもあります(はい)	引き続き、保護者から頂いた相談や質問は適時共有して対応していく。 懇談は継続して行っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	○			1年間に2回保護者向け勉強会の実施を行っている。	22	7	1	9	保護者に向けての学習会は良い学びにはなっていますが連携とまでは…(どちらともいえない) 講演会、親睦会等には参加出来ませんが、学校の保護者が多いので情報交換はしています(どちらともいえない) 懇親会ではなく、意見交換会のような会があってもよいかもしれない(いいえ)	今後も継続して勉強会を周知、実施を行い、内容はニーズに合わせて検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			メール、電話、連絡帳、来所にて受けた質問は適時対応している。	20	3	2	13	対応されていると思う(はい) 誰がいなくなった、〇〇さんが来た！と、子供たちは社員さんの名前をよく覚えて気にしています。スタッフさんが分かるように保護者にも教えてほしい(わからない)	迅速かつ丁寧な対応を心掛ける。必要に応じてSNSも活用していく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			必要に応じて、個別のスケジュール表を用意するなどして対応している。	32	5	0	2	配慮はあると思います(はい)	引き続き、必要に応じて随時行っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			毎月予約時にイベントチラシ(案内)を送付している。活動概要やイベントの様子はSNSに上げているが不定期になっている。	29	4	1	5	ホームページは写真だけなので本人が話さないと分からないことも多い(どちらともいえない) ホームページがない「フェロシステム」「フェロラボ」は検索するとありますが、KIDSは分かりませんでした。 Facebookも利用していない人が多いですし、ホームページを分かりやすく作るべきだと思います(いいえ)	情報が鮮明に伝わるようSNSの発信頻度の改善、HP内容の修正を検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			契約時に本人の顔だし、名前だしに関して保護者へ確認のアンケートを行っている。	30	2	1	6	していると思います(はい)	今後も個人情報に関して、適切な取り扱いをしていく。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			マニュアルを作成し、事業所内に設置はしているが、保護者への周知徹底には至っていない。	14	9	8	8	説明まではなかったかもしれませんが(どちらともいえない) 確認する必要がある(どちらともいえない) 私がか知らないだけかもわかりません(いいえ) 防犯等のマニュアルは分かりません(いいえ)	HPやSNSを活用した周知を検討する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
子の対応	2	○			年1回以上、座学や消防士を招いた訓練を実施している。	6	8	5	20	わからない、訓練した事を伝えて欲しい(どちらともいえない) 子どもとはまだ参加していません(どちらともいえない) 聞いたことがないです(いいえ)	引き続き、定期的な訓練の実施を行う。SNSを活用した実施の周知を検討する。
非常時等の対応(続き)	3	○			年1回以上、スタッフを選定し、研修に参加している。						引き続き、社内・社外での研修へ参加し、意識を高める。
	4			○	明確な記載や規定はない。今後規定の検討をする必要がある。						必要に応じて、本人や保護者に事前に十分に説明・了解を得ていく。
	5		○		契約時に口答や書面での記載はある。通常活動以外の場合は、事前に内容を周知して保護者の判断を仰いでいる。						引き続き、保護者への説明を徹底する。
	6		○		事例集はないが、適時申し送りや日報、会議にてヒヤリハットの情報共有を行っている。						ヒヤリハットをしっかりと残していく仕組みを作っていく。